



生徒が主役 海青

2026年10月9日

学校便り No.11

文責：校長 渡辺 景輔

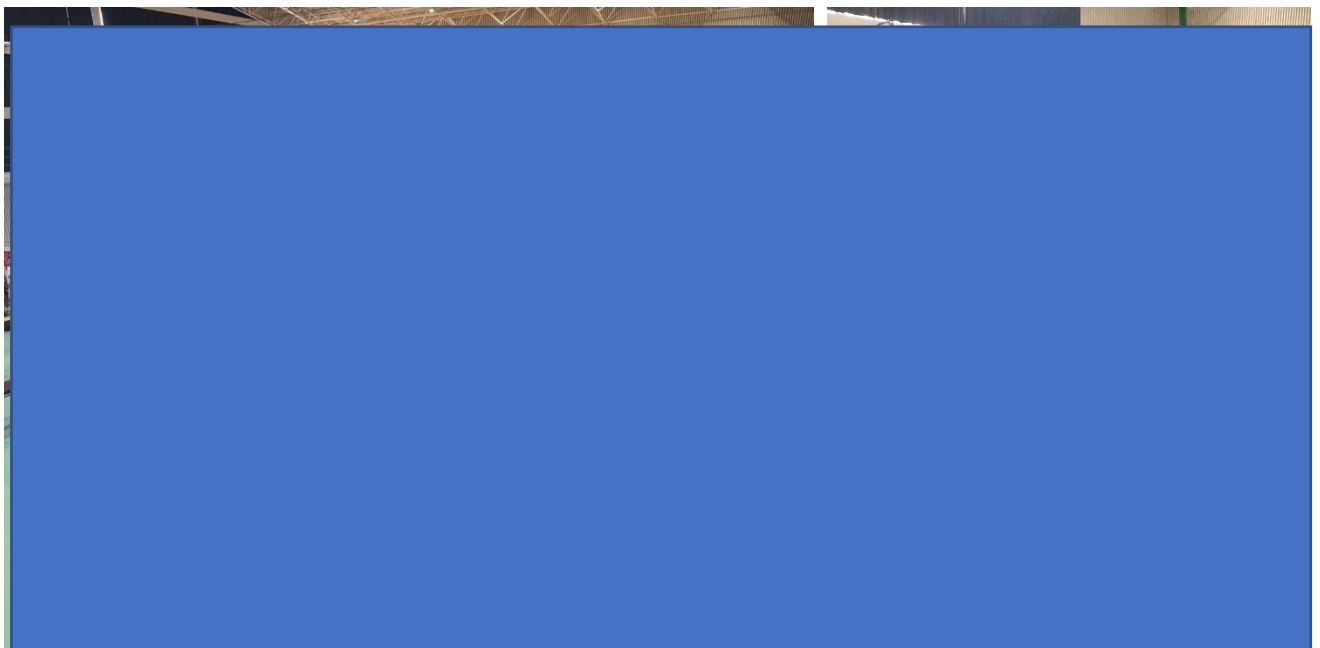
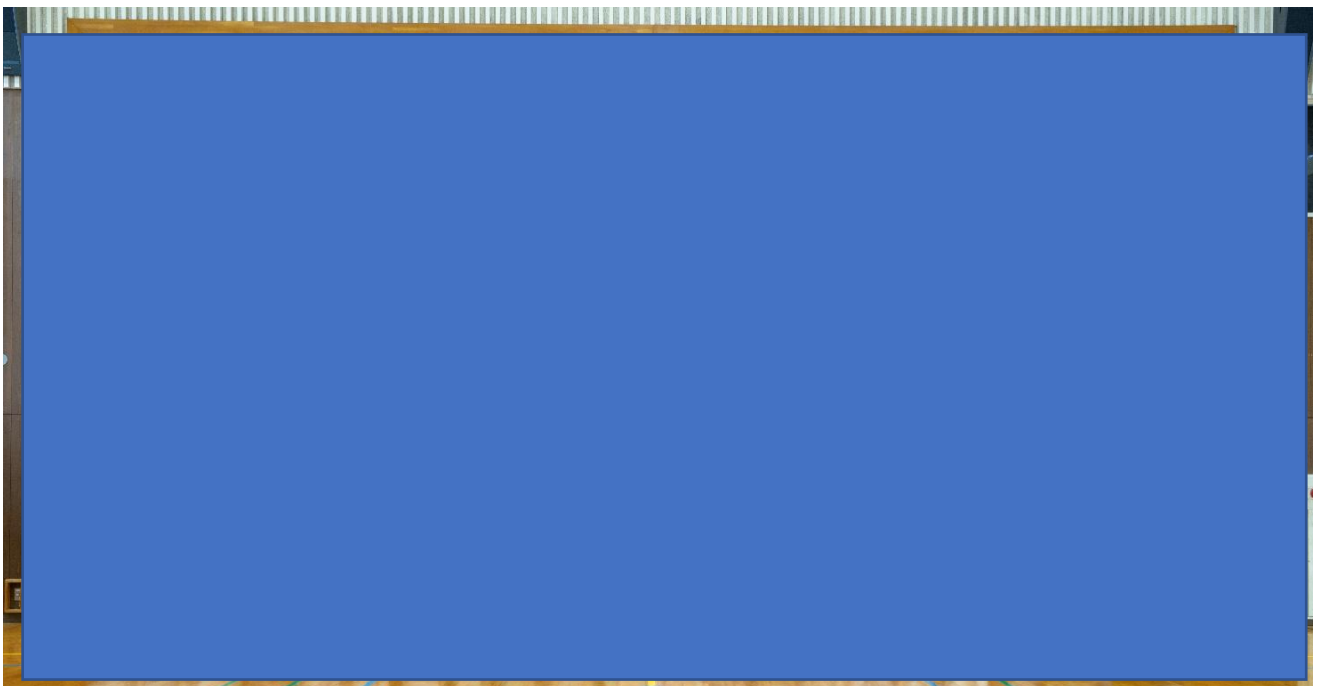
唐津市鎮西町横竹838番地9

【学校教育目標】

夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成
～生徒が主役の学校に～

今年度変更しました

地域の方々の「熱い思い」に触れました！



10月2日（金）、本校体育館を会場に、鎮西町・呼子町を中心とした県内53もの企業・個人事業主の皆様をお迎えし、「はたらく人プロジェクト in 海青中学校」を開催しました。校区内の呼子小学校、名護屋小学校、打上小学校、そして、馬渡小中学校、加唐小中学校、小川小中学校も参加し、総勢200名以上の児童・生徒が集う熱気あふれる行事となりました。体育館にずらりと並んだ各企業のブースでは、実際の仕事の道具や製品、わかりやすい写真パネル・画像・映像などを前に、子どもたちが目を輝かせて大人たちの実体験に耳を傾けていました。

地域の第一線で活躍されている大人の皆さんが語る「働くことの意義」や「地元の魅力」、そして「社会に出るまでに身に付けてほしいこと」についての熱いメッセージは、子どもたちの心に深く突き刺さったようです。真剣な表情でメモを取り、質問を投げかける子どもたちの姿からは、自分の将来のヒントを得ようと意欲が感じられました。

行事のあと、子どもたちの感想には、頼もしい言葉があふれていました。

「お金を稼ぐことだけでなく、好きなことややりがい仕事をしたい」

「自分のためだけでなく、家族や友達、みんなのために行動したい」

「私たちの暮らしのために働いてくれる地域の人たちに感謝したい」

また、大人の皆さんから「勉強をがんばれば将来の選択肢が増えるよ」「努力を積み重ねれば必ず上達する」と背中を押され、「あきらめずに何にでも挑戦したい」「笑顔とあいさつ、礼儀を大切にしていきたい」と、日々の生活を見つめなおす声も多く聞かれました。

このプロジェクトは、単に職業を知るだけでなく、自分が多くの人に支えられて生きていることへの「感謝」や、自分の可能性を信じて「挑戦」する心を育む、かけがえのない機会となりました。子どもたちにとって、地域で働く大人の方々の背中が、教室や教科書では得ることのできない学びとなっていました。

お忙しい中、未来の宝である子どもたちのために熱く語ってくださった地域の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様からいただいた貴重な時間を、子どもたちが夢に向かって歩いていけるよう、今後とも地域と共にある学校づくりを進めてまいります。

〔今回参加していただいた皆様〕（敬称略）

「佐賀県警察」「老人ホーム宝寿荘」「マッチコネクト」「好候 Paddle Club」「旅館太望閣」「佐賀県玄海漁業協同組合」「参議院議員」「中里染物店」「唐津看護学校」「サガンドリームス運営」「肥育農家」「バースプランニング」「呼子小学校」「未来ギフト」「下西商店」「民宿大慶」「呼子クラフトビール醸造所」「ニッスイまぐろ」「らてーる焙煎所」「自衛隊」「唐津市社会福祉協議会」「SAGA 久光スプリングス」「ケイユートランスポート」「二代目藤本商店」「割烹旅館筑前屋」「河畔病院」「唐津市役所」「前田建設」「中村スタジオ」「なごやアグリ」「佐賀銀行呼子支店」「向刃物店」「太閤テニスクラブ」「大志小学校」「スマイルソーシャルワーカーズ」「海上保安部」「願海寺」「ウニ漁師」「ON THE CLIFF」「山添木工所」「佐賀アジアドリームズ」「よいしい」「県立名護屋城博物館」「フラワーショッププラフィーニ」「玄海自動車」「デザイン業」「唐津消防署」「社会福祉士事務所ふくしや」「マッシュドライブ」「殿ノ浦愛児園」「八幡神社」「百と十ベスパー」「金子産業」